

しらぬか 議会 だより

NO.145
2019.7.25

- 2 令和元年第1回臨時会
- 4 新議員紹介 13 名が議員活動の抱負語る
- 7 アトキノシツギ「コンビニ納付が始まる」他2件

- 8 令和元年第2回定例会 一般質問7名
- 18 委員会の動き
- 20 「傍聴席から」元町議 大島修造氏 旭日褒章受章
- 22 白糠いい店こんな店「お魚屋さんあづま」



議場でいっぱい質問したよ！(白糠小2)



新しい議会体制スタート

第1回臨時会

令和元年第1回臨時会は5月9日に1日の会期で開催しました。

臨時会は、4月選挙後の初の議会となるため、初臨時会と呼ばれ、議長、副議長、各委員会委員などの議会構成に加え、一部事務組合の派遣議員が選任されました。その他町長から報告4件、監査委員選任の人事案件を含む4件の議案を審議の結果、原案のとおり承認・可決し閉会しました。

30年度補正予算

◆白糠町一般会計補正予算
平成30年度の地方譲与税及び地方交付税等の確定により、基金積立金との調整が必要となったことによる補正予算の専決処分。

◆白糠町国民健康保険特別会計補正予算
平成30年度の国民健康保険事業に係る事務費等の確定により、一般会計繰入金等との調整が必要となったことによる補正予算

条例改正

◆町税条例の一部改正
地方税法等の一部改正する法律等の施行に伴う町税条例の一部改正の専決処分。

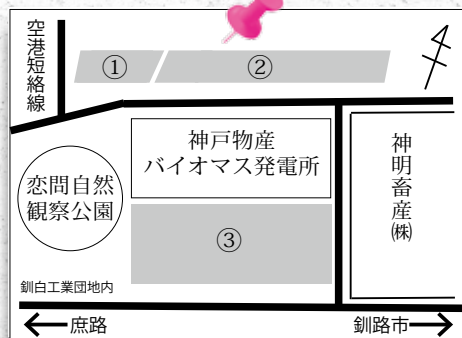
◆白糠町国民健康保険税条例の一部改正
地方税法等の一部改正する法律等の施行に伴う町税条例の一部改正の専決処分。

の専決処分。

◆町税条例の一部を改正する法律
地方税法等の一部改正する法律等の施行に伴う町税条例の一部改正。

財産取得

◆企業誘致のための産業用地の取得
◇神戸物産の所有地を平成31年4月11日に仮契約し、2005万円で取得①②。6万4930平方メートル



◇神明畜産の所有地を平成31年4月26日に仮契約し、9379万3千円で取得③。9万3793平方メートル

人事案件

◆監査委員の選任につき同意を求めること
任期満了による町議会議員の改選に伴い、町長が議会の同意を得て選任する。

着任報告

◆ALTの着任

新しい外国語指導助手、徐玉潔（シーイージェ）さんが、4月に着任致しました。
徐さんは、中国浙江省出身です。上海外国語大学で日本語並びに日本文化を学んだ後、福井県教育委員会中国語指導助手として福井県立高等学校において、講師として、1年間日本語教育に携わってこられました。
現在、白糠町内の幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校を担当し、日常的な中国語を中心に中国語指導を行っております。また、白糠高等学校におきましても中国語の授業やクラブ活動を受け持つ予定となっております。



徐玉潔着任あいさつ（抜粋）
私は、この4月から、すでに幾つかの学校や幼稚園・保育園で子どもたちに接し、授業をさせていただいております。
白糠町子どもたちは、私が当初想像していた以上に、大変中国語に興味を持っており、またとても上手に中国語を話すので、私は大変驚いていると同時に、非常にうれしく感じています。一日でも早く白糠町の歴史や文化、そして多くの方々へ接し、町民の皆様にも親しんでいただけるよう、精一杯努力するつもりであります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

議会運営常任委員会

委員長 折出征清
副委員長 鎌田民子
委員 立石巧
委員 中河敏史
委員 中村仁志
委員 小野キサ
委員 山吉公德

広報調査特別委員会

委員長 鎌田民子
副委員長 小野キサ
委員 坂本勝雄
委員 立石巧
委員 中村仁志

一部事務組合等議会議員

◆釧路公立大学事務組合
小池憲一
◆釧路白糠工業用水道企業団
議長 福地裕行
議員 折出征清
議員 中村仁志
議員 鎌田民子

議会改革・活性化特別委員会

委員長 福地裕行
副委員長 山吉公德
委員 坂本勝雄
委員 立石巧
委員 折出征清
委員 中河敏史
委員 中村仁志
委員 小野キサ
委員 小池憲一
委員 山吉公德

産業厚生常任委員会

委員長 山吉公德
副委員長 立石巧
委員 澤原孝行
委員 折出征清
委員 小野キサ
委員 福地裕行

総務文教は主に総務、財政、教育に関する事について専門に調査しています。

総務文教常任委員会

委員長 中村仁志
副委員長 中河敏史
委員 坂本勝雄
委員 鎌田民子
委員 小池憲一
委員 石田正義

議員構成と一部組合等の派遣議員は次のとおり決まりました。（議席順により掲載）

議長 富田忠行
副議長 石田正義

新議員紹介

13名が議員活動の抱負語る

◎今後の4年間を担う13名の議員を紹介します。

氏名
年齢
当選回数

- ①所属・役職
- ②抱負・政策など
- ③居住地域
- ④白糠町のおすすめ、良いところなど

澤原孝行
70歳
1回

①産業厚生常任委員会委員
②高齢者という立場から、介護サービスの充実や健康づくりの、定年後も働きたいと思う高齢者の雇用対策を推進していきます。
特に高齢者雇用の、年金制度や雇用保険制度も少しずつ改善されてきており、事業者にも高齢者雇用による助成制度もありますので、町全体で雇用の場を確保し、高齢者が生き生きと働き、長く暮らせるまちづくりを図ること人口減少対策にもつながると思います。
③日の出
④ラーメン店が多くて美味しい。

坂本勝雄
68歳
1回

①総務文教常任委員会委員
広報調査特別委員会委員
②町民と町政のパイプ役として常に町民の目線で物事を考え、見据えて高齢者そして子供達が明るい、温かい暮らしが広がる町づくりを目指します。

③西庶路千鳥町
④庶路学園、二宮尊徳像から望む、西庶路・庶路市街、太平洋の眺望。万象具徳

立石 巧
52歳
3回

①産業厚生常任委員会
副委員長
議会運営委員会委員
広報調査特別委員会委員
②皆様方の温かいご支援で、議員として活動させていただいている事に心から感謝申し上げます。3期目となり、より一層、責任と自覚を持ち4年間の議会、議員活動に努めて参ります。
抱負としては、一次産業の振興・発展、教育関係、子育て支援、福祉、人口減少、少

子高齢化、予期せぬ災害に備える防災の強化など。現状を受け止めながら多くの課題に立ち向かい、町民の皆さんと一緒に考えるまちづくり、ふるさと白糠町を守り次世代へつなぐ活力あるまちづくりを目指します。
また、地球環境問題として森林を守る。木材利用の重要性やその促進にも力を注ぎ未来の子供たちのために緑豊かな白糠町を残していけるよう発信していきます。
③新栄町
④白糠町の珍珠は鮭とば、たこ、こまいなど美味揃い。ロールこまいは剥きやすくて食べやすいのでおすすめです。

折出征清
47歳
3回

①議会運営委員会委員長
産業厚生常任委員会委員
②I 子供たちが将来、この町で学んだことを誇りに思い、この町で働き、この町で暮らしたいと思えるような、家庭・学校・地域が一体となつて、子供たちを育てる環境づくりの推進して参ります。

Ⅱ 東日本大震災のような悲しい大惨事を教訓として地震・津波対策は勿論の事、近年、ゲリラ豪雨・集中豪雨による土砂災害や河川の氾濫など、今までにないような災害が全国各地で発生しております。様々な災害に備えた危機管理体制の見直し強化を図って参ります。
Ⅲ 我が町の基幹産業である一次産業と商工業がより一層の連携をはかり、協働のまちづくりを推進して参ります。

特に一次産業の中でも漁業関係者にとつて、ここ数年続く記録的な不漁で大変厳しい中、放流事業・漁礁の整備は勿論のこと、漁業法改正もあり、将来を見据えた増養殖事業などを推進して参ります。
③橋北
④白糠町のおすすめはやはりこの前浜で獲れる新鮮な海産物です。柳だこ・秋サケ・北寄・ツブ・ししゃも・毛ガニ！

中河敏史
65歳
3回

①総務文教常任委員会
副委員長
議会運営委員会委員
②皆様の御支援をいただき3期目になります。
政策等は一期目から変わらず第一に、町民の目線で町政の良否を判定して参ります。第二に、一般質問において

二期八年間休まず三二回行ってきたが、議員の仕事として最低一般質問は行う必要があると考えております。
第三に、より多くの皆様の意見を伺って参ります。その声を町政に反映させて行きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。
③茶路川西
④白糠町は人の手が入ってない自然が素晴らしいし、おいしい食材も豊富である。また子供を育てる環境が良い。

小野キサ
82歳
3回

①広報調査特別委員会
副委員長
産業厚生常任委員会委員
議会運営委員会委員
②少子高齢化社会の今だからこそ、子ども・高齢者を大切にしなければなりません。
白糠町はまちづくり3本柱を礎に町民の幸せを願い町政執行しております。特に子育て支援としては、安心して生まれてられる環境づくりに、経済面と共に教育面にも力を入れており、将来のまちづく

りにとつて大切と感じます。その一方で高齢者が老後の不安を感じて、白糠町を離れる現状をしっかりと受け止めて検証することが必要です。
住んでいたい町、住んでいてよかったと思える町づくりが人口減少の歯止めにも繋がります。私はこれからも女性・高齢者の目線で町民の声を、行政に届けるパイプ役として住みよい町づくりに参画して参ります。
③旭
④仲間と共に趣味に合わせ、楽しめる豊富な自然環境・山・川・海の恵みを満喫出来るまち白糠町

山吉公徳
73歳
5回

①産業厚生常任委員会委員長
議会改革・活性化
特別委員会副委員長
議会運営委員会委員
②議員の役割と議員の務めは、住民に代わって行政を監視することだと思ひます。
1 子供から高齢弱者まで安心して、暮らせる町の橋渡しとして働きます。
2 安心安全を実感出来るような、避難所の整備や周知方法に意を尽くします。
3 地場産品を活かした産業を興し、働く場を確保します。

中村仁志
70歳
3回

①総務文教常任委員会委員長
議会運営委員会委員
広報調査特別委員会委員
②初当選以来八年間「一番近くで動く、働く。」をモットーにやってきました。私、公明党公認の議員として地方議員から国会まで、しっかりと連携で結ばれたネットワーク政党で、そのネットワークの最前線で町民皆様の声を受け止めて心一つにして働いてきました。
一般質問でも白糠町が抱え

る様々な問題を全国の議員と連携を密にして訴え実現してきました。これからも信頼される開かれた議会、負託に応える議会改革の断行、行財政改革推進と健全財政の確立、少子化問題等、白糠町が抱える課題は山積しています。町民相談や生活環境の充実にも「現場第一・実績第一」に緊張感をもって日々全力を注いで頑張っていきます。
③西庶路
④「出産祝い金」「医療費助成の拡大」「保育園・幼稚園保育料の無料化」「生徒入学支援金」「学校給食費無償化」など子育て支援が充実

鎌田民子
71歳
5回

①広報調査特別委員会委員長
議会運営委員会副委員長
総務文教常任委員会
②未来を託す子どもたちや、社会を支えてきた高齢者の皆さんが安心して暮らしていけるよう「町民のくらし、福祉を第一に」の立場で、これからも皆さんの声を聞きながら、

謙虚につとめて参ります。
・安心できる地域防災をすすめ、特に災害用支援者への対応を目指します。
・今後値上げが予想される国保税の負担軽減を目指します。
・町民の皆さんの声が届くよう他の議員と協力して、開かれた議会を目指します。
③鉄北
④子育て支援に力を入れているので、移住する方がもっと増えるようアピールしたいと思ひます。

4 駅前には町の顔である、駅の改築や整備を早期に実現出来るよう汗を流します。
5 新たな観光資源を発掘し、町外に発信します。
6 取り組んで見たくなるような第一次産業の宣伝や育成をします。
③旭
④国道がある。JR特急が止まる。空港が近い。農産物・酪農がある。漁業水産物もある。この利点を活かすことが、議員の務め。



福地裕行

68歳
6回

①議会改革・活性化
特別委員会委員長
産業厚生常任委員会委員
②「まちを憂いて」マスコミ
受けする話題を総花主義でぶ
ち上げ、町内外の歓心を買っ
ては来たが、どう言葉を飾り
取り繕おうとも落ちぶれ行く

我が町の実態が作られた一連
の歩みこそが、町政の流れそ
のもの。二元代表制ゆえ、議
員の責任も誠に重い。多数決
だけが民主主義になり下が
り、「今だけ、金だけ、自分
だけ」になっていやしないか、
ここは自省・喚起のとき。議
会改革・活性化委員会委員長
として、且つ白糠町の意思を
決める機関の一員として、必
ず良い時代が引き寄せるとの
信念のもと、町政を真正面か

ら凝視し、時には対峙も辞さ
ず、大局観に立った意見を吐
き、提案を続ける。
このような、良いまちはな
い。必ず興せる。(求む、議論)
③西茶路
④世界一とも言える気候と
山・川・海を有する広大な面
積、増える空き地、金肥を投
入していない地で世界に伍す。



小池憲一

74歳
6回

①総務文教常任委員会委員
監査委員
②人口減少、第一次産業の
衰退、問題は山積している
が、下ばかりは見えていられな
い。地球環境の変化により、
都市部においては異常高温が
続き、快適な居住環境を求め
て地方への移住を希望する人
が増えている。本町の夏は冷
涼で、冬は小雪かつ快晴が続
く。この気候がどれだけ恵ま
れたものなのかは、全道最多
の季節移住者を誇る釧路市が
実証しているが、本町はその

釧路市を上回るほどの地域資
源、更には子育て世代等に向
けた充実した独自施策を打っ
ている。この恵まれた環境と
各種施策を柱に、人口減少に
歯止めをかけ、新規就農者の
受け入れによる産業の活性化
と後継者対策に向けて邁進し
て参りたい。
③庶路乳呑
④田舎だからこそ、「人と人
との結びつき」は大切にして
いきたいと思っています。



石田正義

76歳
9回

①副議長
総務文教常任委員会委員
②基幹産業の振興・発展。教
育、福祉、高齢者、弱者に対
する支援の充実。少子高齢化
に伴う人口減少対策に取り組
みます。
③上茶路
④上茶路青少年旅行村、驚き
の森で珍しい果汁ブルーベ
リーが栽培、商品化されてい
る。今後PRしていくべきと
思う。

①議長
②議員として4期目、議長と
して2期目を迎えることがで
きました。今期の課題は、4
年後を見据えて、魅力ある議
会を目指すことです。議員自
ら政策課題を提案し、町民の
皆様の願いや思いが叶うよう
町民参加の議会活動を進め、
議会の活性化に努めてまいり
ます。6月には、議会改革活
性化特別委員会を組成しまし
た。多くの皆さんからご意見
をいただければ幸いです。建
設中の、消防庁舎をはじめ防
災の拠点づくりは重要課題で
す。避難場所の整備充実を図
ることで、安心安全な町づく
りに取り組みます。また、人
口減対策の基盤としての教育
や生活環境整備を推進し、未
永く住み続けたいと思える町
づくりに取り組んでまいりま
す。
③西庶路錦
④庶路学園からの眺望です。
眼下には街並みとともに、海
の幸を育む前浜、山の幸を育
む農地と阿寒まで続く山並み
を見渡せます。



富田忠行

66歳
4回



庶路学園二宮尊徳からの風景



次回の定例会は
9月上旬です。

追跡 アントキノシツギ

あの案件はどうなった？

過去の質問・質疑の中か
ら、あの質問等がその後どう
なったのかを調査する
「追跡 アントキノシツギ」
今回は、3件の質問を追跡
しました。

追跡① コンビニ収納を実施 すべき

●平成25年第1回定例会
中村議員の一般質問

当時の質疑・答弁（抜粋）
④地方税制改正により、地方
税の収納事務の民間委託が認
められ、収納委託の契約を結
べば、コンビニエンスストア
でも納税ができるようになって

た。町民サービスアップだけ
でなく、窓口業務の軽減にも
つながることから、本町も早
期に実施するべきだと考える
が、町としての考えを伺う。
④白糠町税等収納策本部会議
で納税者の利便性と初期投資
経費の費用対効果などを検討
した際、コンビニエンススト
ア収納を導入した場合は、納
税者の利便性の向上や窓口業
務の効率化が図られるが、現
行の総合行政システム改修の
初期投資経費が高額であるこ
とに加え、ランニングコスト
である1件当たりの取扱手数
料が他の納付手段に比べて割
高であることなどにより、導
入は見送るとした。

○追跡の結果

今年度からコンビニ
収納サービス・ス
タート

平成31年4月から主要税目
以外の8項目にいてもコンビニ
エンスストアで支払うこと
ができるようになり、仕事等
で昼間に支払いができない方
でも、いつでも支払いができ

るようになりました。

追跡② 社会福祉センターの トイレを改修すべき

●平成29年第3回定例会
小野議員の一般質問

当時の質疑・答弁（抜粋）
④社会福祉センター内の女性
トイレは和式から洋式に改修
したことにより内部が狭くな
り、利用に大変不便を感じて
いる。利用者のしめる女性の
人数及び年齢層からも女性ト
イレの改修・増設等の検討が
必要と思うが考えを伺う。
④施設の利用状況や建物の構
造等を考えると、さらなる改
修、増設は困難を極める。利
用される皆様の切実な実情を
踏まえ、トイレの手狭さと不
足について、改めて検討する。

○追跡の結果

トイレの改修の他、
エレベーターも設置さ
れた

改修により平成30年9月か

らトイレの個室が広くなりま
した。さらにエレベーターも
設置され、より便利になりま
した。

追跡③ 伊賀静雄氏の顕彰の あり方

●平成29年第3回定例会
福地議員の一般質問

当時の質疑・答弁（抜粋）
④本町出身の伊賀静雄さん。
スピードスケートで世界新記
録を樹立したり、合わせて日
本記録を3年保持したという
経歴がある。この素晴らしい
実績を、どう「ふるさと教育」
に生かし、どう顕彰されよう
としているのか伺う。

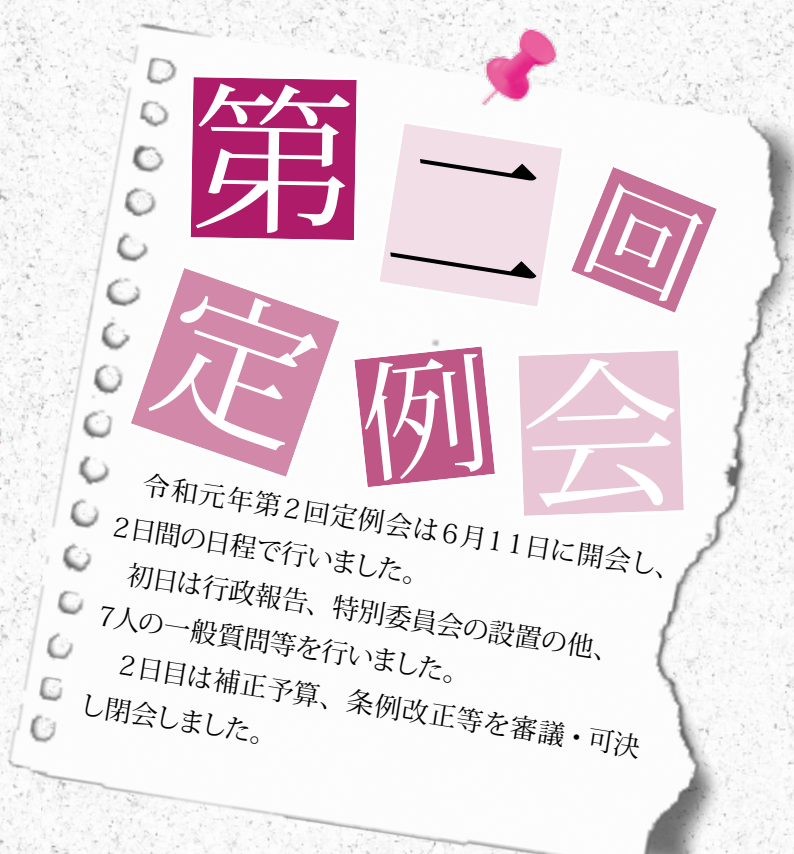
④伊賀静雄氏は、昭和53年、
イギリスで開催されたスピー
ドスケート・ショートトラッ
ク世界大会に出場したことが
記録されているとのことであ
る。今後、各学校で紹介をさ
せていただき、本町出身者で、
このように素晴らしい実績を
お持ちの方がいたことは、町
に誇りを持ち、次代へ繋ぐ意
欲を育む「ふるさと教育」の
事例として、町民への広報や



▷伊賀静雄メモリアルコーナー

総合体育館ロビーに特設
コーナーが設置されました。
当時のベルギー国際大会で着
用していたジャージ、多数の
メダルが展示されております。

総合体育館ロビーに
メモリアルコーナー
が設置された



報 告

◆平成30年度白糠町一般会計
繰越明許費繰越計算書

◇繰越事業と金額

- ・産業用地取得
1億1384万3千円
- ・白糠第2地区道営草地整備事業
1250万円
- ・防災拠点施設再エネ設備等整備事業
3億7642万円

・災害シミュレーション映像作成事業
496万円

元年度補正予算

◆栄橋通り改良舗装事業に係る工事費、1億6050万円を補正

一般会計補正予算において、積立金2915万円、障害福祉システム改修業務費51万2千円、介護保険特別会計繰出金712万8千円、プレミアム付

質疑・答弁

商品券事業費、1580万5千円、子ども・子育て支援システム改修業務費、150万6千円、栄橋通り改良舗装事業に係る工事費、1億6050万円、防災行政無線戸別受信機整備実施設計業務費795万3千円、放課後学習サポート事業費2319万3千円、白糠駒踊り発祥百周年記念事業費344万3千円、スポーツ国際交流員費365万2千円の増額により予算総額を117億8084万2千円としました。

◇戸別受信機

■対象戸数は何戸、財源手当ては。

■3、700戸の世帯の方に全戸配布するよう考えている。また、事業所等々の配布も検討しているため、事業費の試算としては4、200台の整備を考えている。

財源手当ては、緊急防災減災事業債という地方債の充当を見込んでいる。

質疑・答弁

◇放課後学習サポート事業費

■家庭学習の時間が非常に少ない、その要因は。

■平日よりも土日の家庭学習の時間が短いという実態等がある。宿題や復習は良くやっているか、予習の時間が非常に短いという実態がある。週末に振り返る時間の中で子供たちの学習意欲、次の授業につながる課題等を提示するところがあるが若干足りないのではないか、抜本的な授業改善等も必要であると考えている。

■講師3名の住宅手当は。

■基本的には町内に住んでいたかどうかという前提で、民間の住宅を斡旋するという考えである。家庭等の事情によって町内に居住できない場合、通勤可能な場合については通勤も認める方向でいる。

■講師の採用決定は。

■予算が議決後、公募する予定。

◇白糠駒踊り発祥100周年記念事業費

■町での特別なセレモニー等は

行わないのか。

■駒踊り100周年に係る式典については、10月20日に記念式典、並びに記念祝賀会を行うという予定で保存会と協議を進めている。

■記念誌の作成は

■駒踊り保存会の方で記念誌の作製に取りかかっている。

◇スポーツ国際交流員の招致

■スポーツ国際交流員の住宅の手当は。

■教員住宅に居住する考えでいる。

◇栄橋通り道路改良舗装事業費

■1号橋の架け替えに伴う支障物件移転の内訳は。

■上水道管の移設補償費として4800万円。住宅の物置・フェンス・灯油タンクの移転補償費として200万円となっている。

■1号橋の架け替え工事により近隣の住宅に何か問題は起きないのか。

議員の派遣

北海道町村議会議長会主催による議員研修会、新人議員研修会並びに議会広報研修会への派遣を承認いたしました。

◆町村議会議員研修会
日時 令和元年6月25日、

場所 札幌
対象 全議員
26日

◆町村議会議員研修会
日時 令和元年7月9日、

場所 札幌
対象 新人議員2名
10日

◆町村議会広報研修会
日時 令和元年8月20日、

場所 札幌
対象 広報委員3名
21日

※お詫びと訂正

前号、一般質問8ページの中見出しに「導入危機」の記載がありました。が、「導入機器」の誤りでした。お詫び申しあげると共に訂正させていただきます。

契約の締結

本年5月31日に入札執行した白糠消防庁舎改築事業の請負契約の締結。

質疑・答弁

◇白糠消防庁舎建築事業

■指名競争入札に付した理由、それぞれの落札率、付属協定書甲の出資比率。

■本年5月10日開催の建設工事等業者指名委員会において、工事発注内容、技術力及び過去の実績等を勘案し、指名競争入札とすることに決定した。

財産の取得

火災対応などに必要な資器材を積載できステンレス製の10トン水槽を装備し、断水時の給水活動も可能な小型動力ポンプ付水槽車1台の購入。

質疑・答弁

◇小型動力ポンプ付水槽車購入費

■指名業者の業者名は。
■管内で消防自動車を製作して

意見書の提出

いる業者の山崎自動車株式会社、タイ自動車工業株式会社、株式会社北海道モリタの3社。

意見書案2件が提出され、原案のとおり可決し各関係省庁に提出しました。

意見書文は紙面の都合上省略させていただきます。

○意見書案第1号

介護従事者の処遇改善を求める意見書の提出
提出先…内閣総理大臣他

○意見書案第2号

新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出
提出先…内閣総理大臣他

行政報告

◆ALTの離任

英語指導助手のラドノビチキャラン ジェイさんが2年間任期を終えて離任することとなりました。

キャランさんは、主に庶路学園、庶路こども園で勤務し、英



キャランさん

アイヌ民族支援法による 新たな交付金制度を

町 アイヌ関係団体とも十分協議 する

山吉
公德 議員



図 交流人口の拡大を図るには、昨年開設したチセの活用をすることも必要なことだと思ふ。国はアイヌ民族を支援法の中で、交付金制度を創設しようとしている。アイヌ文化の継承や観光振興、地域振興などに繋がる事業を含んだ地域計画を策定した市町村が対象となりうると思うが、町長の考えを伺う。

図 4月19日、アイヌ民族を先住民と位置付け、アイヌ文化の継承と地域振興を支援する「アイヌ民族支援法」が成立した。法律に設けられた、新たな交付金制度では、従来の福祉・文化に加え、地域・産業・観光に資する事業が対象とされ、市町村が作成するアイヌ施策を推進するための計画に基づく事業に対し、国が交付金を交付できることを定めている。町としては、この交付金の活用に関しては、ソフトとハードの両面から、対象となる事業を十分精査するとともに、国や道からの情報収集に努め、地域計画作成に向け、アイヌ関係者とも十分に協議しながら、取り進めたい。本町が誇るア



ウレシバチを利用した鉄道模型の展示

図 ソフトとハード両面から、その内容や対象となる事業については十分精査し、地域計画を作成したいとの考えのようだが、推進あるいは検討している振興策があれば伺う。

図 事業対象となるか今、洗い出し作業をしているところある。アイヌ文化の保存・伝承の他に、観光振興とか産業振興を含めて、アイヌ関係団体等と十分協議して進めたい。

イヌ三大祭りは伝承儀式であり、これまでも町の支援や民俗文化財団の助成を受け取り組んできている。新たな交付金においてどのような取り組みができるか、検討する。

町 九年間の一体型校舎とする 高台改築か移転統合か

図 今年度の教育行政執行方針で白糠小学校の移転計画を推進するとあるが、教育長を始めとして教育現場の幹部職員が大幅に変わった。今後の取り組みと推進について伺う。

図 白糠小学校の移転については、中学校への統合、高台への移転、財政支援策の検討など、国・道に対して要請をしてきたところである。現時点でも、高台への移転整備に対する国庫補助制度が見込まれない状況である。今後の取り組みと考え方は、近年の異常気象や災害発生の頻度からも速やかに児童・生徒の安心安全を確保しなければならぬ。これまでと同様の考えを持っている。早期に国庫補助の財源確保が見込まれない状況を踏まえると中学校を改修し、小学校を移転統合する方向で取り進めたい。また、災害からの危険性を回避ということは最優先であるが、平成30年から取り組んでいる、小中一



白糠中学校

図 庶路学園は避難施設として、地域住民の安心安全面から複合的な役割を担っているが、新たな校舎は避難施設としての役割も担うのか伺う。

図 一時避難施設として使えるように、整備していきたい。

貫教育についても白糠小学校・白糠中学校の一体型校舎にすることにより、9年間の系統性や連続性を生かすことができる。今後のスケジュールなどを含め、議会と協議したい。

一般質問

山吉議員ほか7名が15件21項目について質問しました。

※一般質問 ～ 1人90分以内で、町長等に対して広く町政に関する説明を求めます。

1 山吉 公德 議員

⑩

- ・アイヌ文化の伝承と発信について
- ・白糠小学校の移転計画について

2 坂本 勝雄 議員

⑪

- ・高齢者のスポーツ施設の利活用について
- ・町道、庶路原野乳呑線の側溝整備について

3 中村 仁志 議員

⑫

- ・プレミアム商品券発行について
- ・庶路学園の駐車場横の坂道について
- ・防災基盤の整備について

4 澤原 孝行 議員

⑬

- ・個別リハビリ事業について

5 福地 裕行 議員

⑭

- ・先の町議選について
- ・庶路学園の法面について
- ・基本政策について
- ・災害の未然防止について

6 中河 敏史 議員

⑮

- ・町民の公共サービスは平等であるべき
- ・エゾシカ有害駆除の疑義について

7 小野 キサ 議員

⑯

- ・町民憲章及び町歌の普及について



中村 仁志 議員

「プレミアム商品券」 町の取り組みは

町 商工会と連携を図り、買い物 しやすい環境を整える

町 10月の消費税率引き上げに伴い、所得の低い人や子育て世帯向けの「プレミアム商品券」が発行されるが、15年に引き続き今回も、消費喚起で経済効果が期待されると思うが町としての取り組みについて伺う。

町 本年10月に予定されている消費税率・地方消費税率の10%への引き上げが、所得の少ない方や平成28年4月2日以降に生まれた子のいる子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的として実施するものである。本町の対象者は、2,100人と見込んでいる。商品券の金額は、1人当たりの購入限度額が2万円の設定で、プレミアム率28%を上乗せし、商品券面額を2万5千円としており、総額で5千2百50万円と見込んでいる。前回と同様、商品券の使用可能店舗の公募を幅広く実施し、対象となる皆様が買い物のしやすい環境を整えることなどにより、地域経済の活性化が図られるものと期待している。引き続き、商工会と連携を図りながら制度の運用に万全を期して取り組む。



庶路学園入り口

町 除雪作業のため階段にはできない
町 庶路学園の駐車場横の坂道を階段にできないか

町 町 除雪作業のため階段にはできない
町 庶路学園の駐車場横の坂道を階段にできないか

町 早期の整備事業にむけ、協議を進捗させたい
町 本年の執行方針で言われている、国道38号恋問館付近から町道釧路空港短絡線へ抜ける避難路の整備について伺う。

町 町 本年の執行方針で言われている、国道38号恋問館付近から町道釧路空港短絡線へ抜ける避難路の整備の実現に向けて、今までの取り組み状況と実現に向けての今後の対策について伺う。

町 町 本年の執行方針で言われている、国道38号恋問館付近から町道釧路空港短絡線へ抜ける避難路の整備の実現に向けて、今までの取り組み状況と実現に向けての今後の対策について伺う。



短絡線から見た恋問館



坂本 勝雄 議員

高齢者が気軽にスポーツを楽しめる取り組みを

町 高齢者個々の体力に応じたスポーツの指導普及を図る

町 町 健康づくりには、食事、睡眠、運動の3つの要素が大切であるが、運動不足になりがちが高齢者がどの程度、町内のスポーツ施設で運動に取り組んでいるか伺う。

町 町 健康づくりには、食事、睡眠、運動の3つの要素が健康づくりにおいて、大切であることについても深く認識している、平成30年度における65歳以上の高齢者の方を中心としたスポーツ団体及び、高齢者個人の各々のスポーツ施設における利用状況で説明すると、総合体育館での、団体利用におきましては、卓球及びゲートカーリングで3つの団体が、週2回から週6回活動し、約4,100人が利用している。個人利用において

町 町 高齢者が自発的にスポーツに取り組むことが理想であるが、高齢者に対し、気軽に楽しめるスポーツの紹介や指導も必要と思われる。そのような事業があれば示されたい。

町 町 高齢者の運動不足の解消と健康づくりを目的としたエンジンジョイスポーツの内容は、ゲートカーリング、パークゴルフフビンゴ等の高齢者が個々の体力に応じて楽しめるスポーツを紹介しその指導、普及を図っている。教育委員会としても意欲的に高齢者が運動する、きっかけを作れるよう今後ともこのような事業の



ゲートカーリングの様子

庶路栗城川側溝の整備を

町 今年度土砂の除去する予定

町 町 町の生活環境整備が進む中、庶路1丁目114、庶路1丁目国有地3から栗城川に流れ出る側溝の水の流れが悪いと思われるが、整備の計画予定があるか伺う。

町 町 町 町 町の生活環境整備が進む中、庶路1丁目114、庶路1丁目国有地3から栗城川に流れ出る側溝の水の流れが悪いと思われるが、整備の計画予定があるか伺う。



庶路栗城川の道路側溝

町 町 町の生活環境整備が進む中、庶路1丁目114、庶路1丁目国有地3から栗城川に流れ出る側溝の水の流れが悪いと思われるが、整備の計画予定があるか伺う。

町 町 町の生活環境整備が進む中、庶路1丁目114、庶路1丁目国有地3から栗城川に流れ出る側溝の水の流れが悪いと思われるが、整備の計画予定があるか伺う。

無投票の通知が遅れた経過は

町 書類審査に時間を要した



福地 裕行
議員

間先の町議選に係る一連の動きは町内外に醜態を晒し、今や議会に対する信頼は地に堕ちた感もあるが、立候補届出時間を大幅に経過後、無投票の通知があった。経過を伺う。〔答〕1名が午後4時30分に届出し受け付けたが、書類審査に時間を要した。

問前代末聞の事態だが、届出時間と締切時間の解釈の違いがあつたのだろう。選管の委員長はなぜ出席していない？

答体調を崩しているため。

■無投票の旨を防災行政無線を活用し周知すべきであった。
■新聞折込チラシや町のホームページなどを活用した。

庶路学園の法面は

町 10月末までに修復する

間崩落した法面は無様極まりなく看過できない。知事なども視察に来られ恥ずかしい限りだな、いつまで放っておくのか。手直し工事の工程は。[審]冬期間、地質調査及び土質試験などを実施し、対策工法を決定した。6月下旬から10

月末までの工事期間で実施する。

問 設計ミスでもあり、コンサ
ルの責任で手直しさせるが、
法面勾配はどうする。

排水もしっかりとする。

落ちぶれゆくまちをど
うする。

町 人口減少、防災・
減災対策に取り組
む

問「まちづくりの3本柱」を金科玉条として長年喧伝もしてきたが、どれもこれも特筆すべき実績は無い。このまちにどこまで軸足を置いているのか大いに疑問もある。誇りえる実績は。

〔圖〕第一次産業を再興すること
が何よりも重要と一歩一歩進
めてきたが、その地道な取り
組み成果が着実に始めている。

現実が全て、全く中途半端数字が物語るが、就任した24年前と比して、人口、高齢比

ながら、自主的にリハビリを希望された方がいる事は理解しているので、町としてはボランティアの協力を得て自主的な活動に対しての場所の提供などの支援を行っている。

問専門職による、新規リハビリテーションを開設できないか、町長考えを伺う。

【答】ハビリステーションについては、それぞれの介護保険制度や介護予防事業の中で対応していくので、今の段階では設置する考えはない。



率、出生数、搾乳農家戸数と総生産額、漁協組合員数・漁業経営体数と販売額は目を覆うばかり。全力投球などと自画自賛は結構だが、胸を張れるのか。

〔答〕全国的な傾向であり、私の責任だというなら否定する。町民に新たなことを提案しても難しい。行革の結果、思い切った施策を講じられるようになったが、人手不足が課題

■わがまちは突出していることに目を向けるべき。農協も現状維持が心地良いのでは。だからまちのオヤジである町長の責任が重いと常々申している。欧米や豪州と伍していくには、より安全なものを生産するしか生き残る道は無い。日常の食べ物がいかに身体を蝕んでいるかに着眼するとき差別化を図らなければ白糠農業の未来もない。理想とし、実現を目指すまちの将来像は「人口減少対策」、「防災・減災対策」にしっかり取り組む。

間 後手に回ってまちを出していく人の方が多い。町民の気持ちが悪えてしまう。

【答】将来に向けて今何を為すべきか、最善を尽くすのが使命

崖崩れで水没する

問 ここまで落ち込んだら取り返しは難しいが、悲観はしない。10から15年後、AI・ロボットで世の中は大変革し、少ない人口で美味しいものが食える時代が来るが、その近未来を見据えて今どうあるべきかが問われている。

答 意識改革の時間も要る。十分理解しているつもりだし、思い切ったチャレンジもしていきたい。

町 道に
対策を
申し入
れる

図 西茶路地域を流れる茶路川
 右岸の崖崩れが心配である。
 一朝有事の際は、市街地全体
 に浸水するが、対策を急ぐべ
 きである。

異常気象による大雨や局所
 的な豪雨、大地震により河川
 閉塞が起きる可能性はあるの
 で、北海道に対策を申し入れ
 る。

問堤防の嵩上げも北海道に要請を。

答河道掘削した物を築堤にと要請している。

個別リハビリ事業の再開を



澤原 孝行 議員

町
介護サービスの充実により再開
はない

■以前白糠町保健センターで実施していた作業療法士による個別リハビリ事業については、平成26年度で終了してはいるが、現在、リハビリ訓練を受けられる方は、介護サービ事業所（老健星が浦など）にバスで送迎されている。このことについて、金銭的、精神的、身体的に負担がかかっている。以前のように保健センターで、出来ないか伺う。

〔答〕「個別リハビリ事業」につきましては、平成7年度から老人保健法にもとづき町内に在住する40歳以上で、疾病等により身体機能が低下された方を対象に、身体機能の維持回復の機能が低下された方を対象に、身体機能の維持回復に必要な訓練を行う機能訓練事業の1つとして開始されそれ以前は集団機能訓練室として行っていた経過である。

平成12年から施行され介護

保険制度により身体機能の維持回復のためのリハビリ事業は介護保険制度で提供できる介護サービスとなったため、要介護（支援）認定者については、機能訓練を行っている介護サービスへ移行することとなった。ただし、介護保険制度開始当初は、提供できる介護サービスが充実していなかったため、町として「個別リハビリ事業」を継続してきたが、その後介護サービス体制が充実されてきたことから、平成27年3月31日をもって「個別リハビリ事業」を廃止した経過である。

現在リハビリ訓練を受けられるのは、要介護（支援）認定者につきましては介護サービスとして通所リハビリ・通所介護・訪問介護により提供されており、その他の方には医療機関でリハビリ訓練を受けている。通所リハビリサービスは釧路市内の事業所となるが、送迎の対応も行なっており、自己負担は所得に応じて1～3割負担で利用できる従って、「個別リハビリ事業」は、介護保険制度の運用上、再開することはない。しかし

議会に足を運んでみませんか。

町民みなさんの議会です。

定例会開会前に役場1階ロビーで会議日程及び一般質問の概要を掲示しております。

町のホームページにも議会情報を掲載しております。

<https://www.town.shiranuka.lg.jp/>

傍聴者へのお願い

- 1 帽子、オーバーコート等は着用しないで下さい。
- 2 開議中は、飲食又は喫煙はできません。
- 3 携帯の持ち込みはご遠慮ねがいます。
- 4 私語などにより議事の妨害、他人への迷惑をかけないようにして下さい。



中河 敏史 議員

町民への公共サービスは平等であるべき

町 今年度より差額を助成する

■火葬場改修に係る町民の超過負担について再度伺う。この度の火葬場改修は、利用者の利便性を高める工事であった。町外の火葬場の使用は利用者の都合による事例ではなく、白糠町の事情によって生じ、9件の利用者に超過負担が生じた。問題点として現行の条例にはこのような場合の負担軽減の条項がないこと。過去の改修工事では差額補助等を行ってこなかったことな

どがあげられる。前回の質問において検討したいとのことであった。あらためて検討の進捗状況を伺うが、本件の事例は、条例で想定していないこともあり、しかも回避するための条項もない。本件は特別である。改修工事は必要であるし、遺族の気持ちも察するべきであった。従って特別な対応として超過分を返すべきであった。条例第3条で使

料を納付しなさい、とあるが、特例、特別な対応は制限していない。そこで、白糠町の例規集には、白糠町国民健康保険高額医療費特別支給金支給規則、白糠町職員の退職手当支給に関する特別措置条例、効力が失効しているが白糠町議会議員報酬及び費用弁償に関する条例の特例に関する条例は2件ある。さらに寒冷地手当に関する特例の条例は6件もある。遺族が白糠町に住んで良かった、と感じられる特例措置をこうじること

で9件の遺族の方々の救済が出来ると思うが。
■今後、釧路市と本町の区別なく同一金額で施設を利用できるよう取り決めを行い、今年度から実施することに協議が整った。また、白糠町民が釧路市の斎場を使用した場合5000円の負担が生ずるが、取扱いを改善し、差額を助成することを4月1日より施行する。
有害駆除の確認方法は
町 今年度より、さらに厳格にする

が、特例、特別な対応は制限していない。そこで、白糠町の例規集には、白糠町国民健康保険高額医療費特別支給金支給規則、白糠町職員の退職手当支給に関する特別措置条例、効力が失効しているが白糠町議会議員報酬及び費用弁償に関する条例の特例に関する条例は2件ある。さらに寒冷地手当に関する特例の条例は6件もある。遺族が白糠町に住んで良かった、と感じられる特例措置をこうじること

で9件の遺族の方々の救済が出来ると思うが。
■他での撮影はハンターがクマ等から身の危険を感じたからであり、同一エリアの捕獲は過去2年前から捕獲数に変化はない。
■このエリア(5km四方)はほとんど発砲出来ない町の牧場であり他のハンターも居住しており、発砲音も聞こえないことから無理がある。クマによる危険とのことだが10月からよく3月まででありクマは冬眠期間に入る。ハンターが危険なら山菜取り、釣りなどは規制しなくてはならない。

理由に無理があるが。
■ハンターとは信頼関係があるので問題はない。
■他の自治体、他町村のハンターにも確認したがこのような報告はなく、あれば許可の取り消しが考えられるし、信頼関係を失うとのこと。私は北海道猟友会白糠支部の支部長でもあるが町との信頼関係は疑義あるハンターにのみあるのでは。又、報告写真には白糠町外と思われる風景が映り込んでいる。他の人達とエリア内を探したが確認できなかった。町外での捕獲であれば犯罪にもなりうる。先の産業厚生委員会において確認をお願いしたが。
■エリアが広いので確認していない。個人に確認したので問題はない。
■第3者を入れて確認するようをお願いしたが。
■第3者を含めた確認方法など、ハンターと協議し、厳格にする。

町民憲章及び 町歌の普及を

町 ふるさと教育の一環として、普及促進を図る



小野 キサ 議員

■白糠町には、町民憲章と町歌がある。毎年行われている「はたちの集い」参加成人の間では「知らない」との声が多い。町民憲章は日常生活に欠かせぬ内容であり、町歌は白糠町の歴史を知るために大切にしたいと思うが、小学生、中学生を初めとして町民に広く普及していないと感じる。そこで現在の状況把握と今後の普及に対する考えを伺う。
■町民憲章は昭和42年に町民の日常生活における行動指針として制定され、当時の成人式で発表されている。その後、町民憲章推進協議会が推進母体となり普及活動が行われてきたが、現在は連合町内会、教育委員会が中心となり、各種団体の会議や研修会の中で唱和して、普及、啓発に努めている。学校では小学3年生から使用する社会科副読本に掲載されているが、学校行事や集い等で唱和する機会はない状況である。
町歌は、昭和25年の町制施行記念事業の中で町章と共に町の生い立ちや産業を歌詞に込め、制定された経緯があ

り、「功労者表彰式」「教職員辞令交付式」「はたちの集い」「白洋大学の開講・閉講式」等で斉唱しているが、小学校の社会科副読本の中で学ぶ場面はあるものの学校行事等で斉唱する機会がないのが実態である。
町民憲章は、地域社会の中で幸せに生活していく基本理念であり、町歌は本町の歴史を知るためにも大切にしなければならぬことから、小学生が、その成り立ちや意義を知ることが、正にふるさと教育の一環であると考え。今後、学校においても町民憲章や町歌に親しむ機会を設け、社会教育活動等の中でも一層の啓発に取り組み、広く普及の促進を図っていく。
■普及促進の具体策について伺う。
■学校においては、副読本の活用、朝会での講話、音楽授業の中での指導、町民憲章・町歌の校内掲示など各学校に取り組みの検討を指示。
■町民憲章については、ポスター展や書道展の開催・町歌

については、メロディーが町内に流れ、町民が親しめる方策の検討について伺う。
■町民憲章は図工、美術、書道の授業等の中で検討することは可能である。町歌の町内放送については、各担当部局と調整検討が必要であるが、学校において校内放送を利用することは可能であり取り組んでいく。
白糠町歌
1 先駆の歴史は映るいて流れも清き茶路川の港にそそぐ平和郷わが白糠は栄えゆく
2 銀鱗おどる黒潮や地下千丈の槌の音無限の幸をたたえつつわが白糠は栄えゆく
3 稔の秋の空澄みて牧場にもゆる夕陽影木槍の唄も勇ましくわが白糠は栄えゆく
4 五つの業に町を挙げ睦ぶ章も円やかに気高き阿寒嶺の理想もてわが白糠は栄えゆく

白糠町民憲章
わたしたちは「太陽の手」をおおぐ白糠の町民であることに誇りと責任を感じ、ここに憲章を定めて豊かで明るく美しい白糠町をつくるために努力しましょう。
1 つよい心とからだをきたえ、かがやくあすの白糠町をきずきましょう。
2 元気でたたらき、楽しい家庭をつくりましょう。
3 たがいに助けあい、あたたかい郷土をつくりましょう。
4 きまりを守り、よい習慣と美しい環境をつくりましょう。
5 豊かな資源を愛し、生産に励みましょう。
6 文化を高め平和な町をつくりましょう。

議会改革・活性化特別委員会を設置しました

6月11日

6月11日の定例町議会において、議会改革・活性化特別委員会が設置されました。

本委員会は、昨年度「議員定数等調査特別委員会」で審議した、議員定数や議員報酬等の報告を尊重し、このたび町議員選挙で当選した新体制が、将来を見据えた議員定数や報酬のあり方、町民懇談会を通じた広聴部門の充実など、議会及び議員活動の活性化を図るために組成されました。

目的／議会改革・活性化に関する調査、検討のため
構成員／議長を除く全議員 12人
設置期間／閉会中も継続調査活動ができるものとし、議会が調査終了を議決するときまでとする。

第1回 特別委員会 6月11日

第1回目は、委員長及び副委員長の互選が行われ、委員長に福地裕行委員、副委員長に山吉公德委員が選出されました。



福地委員長 山吉副委員長

第2回 特別委員会 7月3日

第2回目は、委員会の構成組織、調査・検討事項の主な内容、今後の活動計画を協議しました。委員会活動としては、分科会方式により多様な議会改革・活性化案を各分科会で協議し、より具体的な素案を委員会に報告します。委員会では、各分科会の素案をもとに、議論を交わしながら全体審議を行い、また、議員定数、報酬や議員なり手確保対策などの審議も行っていきます。

構成組織図と分科会の主な役割

議会改革・活性化特別委員会

小委員会

総務・文教分科会 (構成員 6 人)

- ・総務・文教に関する改革・活性化案の洗い出し
- ・活動計画の策定

産業・厚生分科会 (構成員 6 人)

- ・産業・厚生に関する改革・活性化案の洗い出し
- ・活動計画の策定

議会運営分科会 (構成員 7 人)

- ・議会運営全般に関する改革・活性化案の洗い出し
- ・議会関連例規の検証と見直しなど
- ・活動計画の策定

広報・広聴分科会 (構成員 5 人)

- ・広報広聴に関する改革・活性化案の洗い出し
- ・町民、各種団体懇談会の検討など
- ・活動計画の策定

今後の活動計画

- ・議会議員の任期中、随時分科会を開催し委員会へ報告する。その後全体で審議する。
- ・必要に応じ、正副委員長と各分科会の代表者を集めて小委員会を開く。
- ・2年目には、委員会としての検証、見直しを行う。
- ・毎年中間報告を行い、令和4年12月を目標に最終報告を行う。

委員会の動き

各常任委員会 所管事務調査事項決まる

総務・文教常任委員会 5月24日

- ふるさと納税に関すること
- 放課後学習サポート事業に関すること
- 白糖小学校移転計画に関すること
- 防災・減災に関すること

所管事務調査 7月8日

ふるさと納税に関すること

○法改正の概要と本町への影響について

法改正により3つの基準が示され、本町においては、すべての基準を満たしており、新制度では、近隣の複数市町村が共通の返礼品などを取り扱えることとなり、道内市町村の地場産品とのコラボレーションが可能となった。また、問題点として、道外への運搬コスト高の問題などを調査した。

産業・厚生常任委員会 5月28日

- 第一次産業の振興・発展に関すること
- エゾシカの有害捕獲と有効活用に関すること
- 企業誘致に関すること
- 白糖駅舎の改築及び駅前整備に関すること
- しらぬか物産センター恋問館の改修に関すること
- 認定こども園等の民営化に関すること
- “太陽の手”子育て支援事業に関すること
- 移住、定住、空き家、空き店舗対策に関すること

所管事務調査 7月8日

第一次産業の振興・発展に関すること

○白糖漁港の全天候天蓋施設及び水域・係留施設整備の概要について

事業費、事業期間、設計内容を調査し、道主体の事業のため、事業期間の短縮を求めるよう担当課へ要望した。

議会議員研修会 6月25日、26日

議会改革・活性化研修会

6月26日に北海道自治労会館で北海道町村議会議長会 村川事務局長を講師として、議会改革・活性化研修会を開催し12名が出席いたしました。

「議会改革・活性化について」をテーマとして議会改革の道内の先進地「栗山町・白老町や福島町」の事例や、一般質問・質疑・討論、委員会活動を通じた改革や活性化のあり方についての研修を受けた。



北海道町村議会議員研修会

6月25日に札幌市で開催され12名が出席いたしました。

講演内容・講師

「どうなる？今後の日本経済」

講師：政治評論家 有馬晴海 氏

「地方は変わるか ～議会はどう変わるか、自治体をどう変えるか～」

講師：中央大学名誉教授 佐々木信夫 氏



大島

◎元議会副議長

修造

白糠のまちづくりにかかわる人を紹介する「傍聴席から」。

今回ご登場いただくのは、元議会議員8期32年の功績により、5月21日付けで内閣総理大臣から旭日雙光章を受章された大島修造さんです。

まちの将来のために 33歳で立候補

―立候補のきっかけは？

【大島さん】当時、卓球同好会などを通じて若い人が集る機会があり、その中で「まちの将来をどういうふうにしていくか」などを話し合うこともありました。結果的に仲間の応援を頂いて、町議に立候補することになりました。私自身も町の政治にある程度関与し、町政発展の一助になりたいという強い気持ちがあったと思います。

―若く当選したので大変だったのでは？

【大島さん】当時、優秀なベテランの議員が沢山いましたから大変でした。定数26人のところに36人が立候補し、僕らの煽りを受けて10名の現職議員が落選しました。町の政治の流れを変える大きなポイントとなったかもしれないですね。

初当選後の最初の一般質問をするときは、議場の発言席で足がガタガタ震えましたよ。それから議会ごとに、町の題材を探し、常に質問することを心掛けました。質問を重ねることにより、質問の仕方や役場の職員達と町を発展について意見を交わし、こうした経験の積み重ねにより議員として成長していった気がします。

議会活動を振返って

―議員時代での印象に残って

いるのか、町が何をやろうとしているのかなどを伝えていかないといけないと思います。議会だよりだって読まない人が相当多いと思います。書いたものを読むのと、直接言葉で聞くのでは大きな違いがあります。議会だよりも優しい言葉で中身を分かりやすくしないと興味を示さない。若い人たちにSNSが普及するのも、端的に親しみやすい言葉を使っているところもあると思うんですね。

懇談会で気を付けることは、一人の議員だけがしゃべるのではなく、出席している議員一人ひとりが、考えてをはっきり発言しないと意味がないということです。参加する町民は、応援する議員が何

いる議会活動は？

【大島さん】一番最初の活動は、昭和50年、開基百年に向け役場庁舎の改築とどこに立てるか、など委員会を組成して議論したこと。その後、昭和53年頃から出て来た白糠線の廃止問題ですね。当時の町長と関係省庁に陳情に行き、いろいろ交渉もしました。廃止反対の声もありましたが、その時は、この廃止に伴う交付金を貰って、白糠の再開発や活性化の資金にした方がいいのではないかと考え方を持っておりまして。全国テレビでも放送されました。その後、神明畜産の誘致問題、庶路ダム建設関係でも奔走したことを思いだし、また、なんといっても町を二分した市町村合併でしうか。住民投票で単独と決めてからは、必死に町も議会行財政改革にも取り組みました。その時は、行財政改革の委員長を務めさせていただき

かしいですね。報酬の多い少ないに関係なく、たとえ定数がどのようになっても、まちづくりに意欲ある人は、きつと出てくると思います。

これからの議会にエールを

―新人議員を含め先輩から

【大島さん】自分の信念は貫いてほしいですね。町政に批判があるなら堂々と批判をしてください。議員個人が、町民の声の代弁者にとつて、白糠町が将来どうすればいいをよく考えながら議員活動をやっているっていただきたいと思っています。議会は言論の府です。意見を言わず、黙って座って

ました。

議会改革に思うこと

―議会改革・活性化に必要なことは？

【大島さん】議員として町民に議会の傍聴に来てほしいという呼びかけを何度もしましたけれども、結局は町民が議

いるだけではだめです。

この町の独自のアイデアを生み出すには町と議会だけではなく、町民のアイデアを引き出すことが大事です。例えば漁業・農業の青年部、商工青年部とか女性部など若い団体と議会とがもっと交流を深めて、若い人たちの発想を発言させる場所を作っていくことも懇談会の役割だと思います。今後、そうした活動を繰り返すことで、若い人が議会に興味を持ち、将来、議員になるかもしれません。いろいろな形で懇談会を開きながら、町民が思っているまちづくりの政策を少しでも議員の力で実現して欲しいですね。

(6月21日役場応接室にて)



議員在任
記念誌

議員在任中と議員退職時の2回に議員時代のご自身の出席記録や一般質問の内容をまとめた記念誌を発行

取材後記

大病を患い現役当時よりは、痩せておりましたが、今後の白糠町議会に必要なことなど熱心に話していただきました。また、高校教員時代の教え子さんとの交流も今も続いているそうで、2年後のクラス会を楽しみにしているとのこと。さらに、5年後には結婚50年目の金婚式を迎え、私生活も充実した毎日を送っているようです。機会がありましたら、昔のように一緒に卓球でも！

(議会広報担当)

傍聴席から





白糠いい店 こんな店

今号でご紹介するのは、新鮮な魚介類が並ぶ吾妻水産直売店の「お魚屋さん あづま」さんです。

大漁旗が目を引く店内には、白糠漁港で水揚げされた、旬の魚介類を中心に仕入れをしております。今が旬な魚は、時サケ、ツブ、花咲ガニなどとなっています。

対面販売のため、お客さんの好みのサイズに切り分けたり、お魚のおいしい食べ方をいつでも丁寧に教えてくれます。

加工食品で人気商品は、ししゃもに焼つぶとなっております。これから焼肉シーズンをむかえますので、その一品にいかがでしょうか！「焼きつぶ」は下処理がしてあるため、炭火で温まったらすぐに食べられます。

また、宴会用のオードブルの予約もでき、要相談で定休日にも対応してくれます。手作りのお弁当や総菜も大人気となっています。

- 住所：白糠町東一条南二丁目三十番地
- 電話：(2) 4882
- 営業時間：8時30分～17時30分
(日曜定休)

お魚屋さん あづま



左2番目店主の吾妻至幸さん

【おしらせ】お魚屋さん あづまさんからのご提供～3千円以上のお買い上げの際「議会だより見たよ」で、ドーナツをサービス数量限定。(本年7月末迄。お一人様一回限り)



あとかき

第2回定例会は、選挙後初の定例議会です。

4年前の選挙同様に今回も無投票当選となりました。町民皆さんの思いは様々あると思いますが、とにかく新人2名を含む13名で4年間のスタートとなりました。

今回の定例会では、新人議員も含めて7名が一般質問を行い、それぞれの思いを行政に質問しました。町議会は、議会改革・活性化特別委員会を立ち上げ、さらに4つの分科会を設け、より開かれた議会、信頼される議会にするために、より具体的に議論し、活性化を図ることになりました。

広報委員も新体制となり、町民に読んでいただける紙面づくりをめざし、今後もよりいっそうの努力をいたしますので、率直なご意見をよろしくお願い致します。
(鎌田)



今号の表紙



今号の表紙は、ふるさと教育の一環として白糠町役場の施設見学に訪れた白糠小学校2年生です。議場の見学では、議員席に座り、議会形式で、一人ずつ順番に発言席から役場の仕事について職員に元気よく質問していました。この中から将来議員として白糠町で活躍することを期待しています。